

道路の維持管理について

質問Ⅱ道路工夫を構えないか 答弁Ⅱ地域性をみながら検討



市川 けんじ 議員

町での道路の維持管理についてはどのように行っているのか。現在、吾北地区には3人の道路工夫を構えているが、地域からは、素早い対応ができており助かっているとの声を聞く。働き場の確保は移住・定住にもつながるのではないかとと思われる。伊野地区、本川地区にも道路工夫を構えることはできないか。

水田土木課長

伊野地区での維持管理については、職員、地元業者、シルバー人材センターや地域住民の方々に協力をいた

だき行っている。本川地区においても伊野地区同様に行っている。地域からの要望については、緊急を要するような事案は予算内で対応している。ただ、高齢化・過疎化に伴い地元主体

中山間の暮らしについて

質問Ⅱ西条市側に町営バスを 答弁Ⅱ住民のニーズを見極め検討

市川議員

平成30年3月11日の高知新聞に「県内高齢ドライバー苦悩」との見出しで運転免許証自主返納の記事が掲載され、本川地区のことが記載されていた。「買い物や通院で月に2〜3回は乗っている。車がないと生活できない」との中山間地域の実情を話していた。町では免許返納者に対し、どのような支援ができていますか。また、平成29年12月に実施した公共交通アンケート調査結果について、西条

で行う維持管理は難しくなってきたとの声も上がってきている。

道路工夫については、地理的条件、地域性もあり、吾北地区と同様にはいかなることより、平成30年8月から伊野地区において1人の技術補助員を雇用し、維持管理などやパトロールを行っており、その成果を検証し、検討を進める。

市側にバスがつかないから、「利用する」「将来は利用する」と回答した住民が全体の57%もあるが、西条側へ町営バスを連絡するか、または、負担金を出してでも、西条側から木の香温泉まで延伸する気持ちはないか。

現在本川地区で実施している過疎地有償運送について、西条市まで走らせることはできないか。

池田町長

運転免許証自主返納者に

対する支援は、町としては実施ができていないが、それも含めより良い公共交通のあり方を役場内で検討している。

町営バスを西条市側まで走らせる、または、木の香まで延伸させることについては、住民のニーズを見極め、費用面なども確認し庁内で検討する。

過疎地有償運送を西条市まで走らせることについては今の段階では難しい。

道路計画について

質問Ⅱ町道西川線、林道大野・高樽線早期完成を 答弁Ⅱ国・県に積極的要望していく

市川議員

町道西川線(池の窪工区)については開設開始から13年が経過しているが、進捗率が27%と非常に遅れている。地すべり指定区域であるが、西川地区住民にとっては災害時の迂回路となるため、2工区で開設できないか。また、林道大野・高樽線について、残延長241mとなっているが、事業費の増額を県・国に行わないか。

しかし、西条市や関係機関とも協議を行っていく。

市川議員

運転免許証自主返納者に対して、いの循環バス、デマンドタクシー、デマンドバスの定額運賃を半額にできないか。

池田町長

今後研究し、いの町地域公共交通活性化協議会などで検討する。

門脇吾北総合支所次長

町道西川線(池の窪工区)については、国の予算措置が地震・津波対策などに優先的に配分されて要望額どおりにはいかないが、すぐに対応ができるよう、終点側の用地取得に取り組む。

池田町長

林道大野・高樽線については、県への要望活動のみならず、国への予算要望を積極的に行っていく。